



あのときの常呂・写真館

VOL 18

(1967年)

昭和42年6月1日 イワケシ牧場放牧開始

▶昭和41年から農業構造改善事業として実施していたイワケシ牧場の111.9ヘクタールにわたる造成事業が完成し、3月の定例議会で牧草の管理と運営に関する条例が成立したため、この日から一部の利用が始まりました。

①利用期間 6月1日から9月30日まで ②放牧利用料(1日当たり)*牛:
12ヶ月未満50円 12ヶ月以上18ヶ月未満60円 18ヶ月以上70円
*馬:成馬50円 仔馬付60円
(昭和42年4月号の「広報ところ」からの抜粋)

▶このイワケシ牧場のあるイワケシュ山を含めて、この場所は、その後町民が集う場所になっていきます。

*昭和49年5月(登山同好会主催の第1回町民登山:イワケシュ山)

*昭和49年11月10日(常呂町乳業検定組合主催の初めての酪農祭をイワケシ牧場で開催)

*昭和50年9月21日(第1回「町民いこいの日」をイワケシ牧場で開催)

*昭和58年3月(イワケシ牧場閉牧)

*昭和61年11月(イワケシュ友の会結成)ハイジの丘として親しまれているイワケシュ山に住民参加の花と緑の丘を造る:会ではその後、昭和63年7月にログハウス、散策路などを完成)





＊イワケシュ山に関する古い記録として、「龍宮街道」の名付け親でもある文豪／大町桂月が大正10年9月2日に常呂村を訪れイワケシュ山に登り、「イワケシュ山は最高で、眺望が良い。三湖一海里三里四方の平野」（大町桂月全集別巻）があります。



写真はすべて、放牧開始当日の式典・放牧のようす

